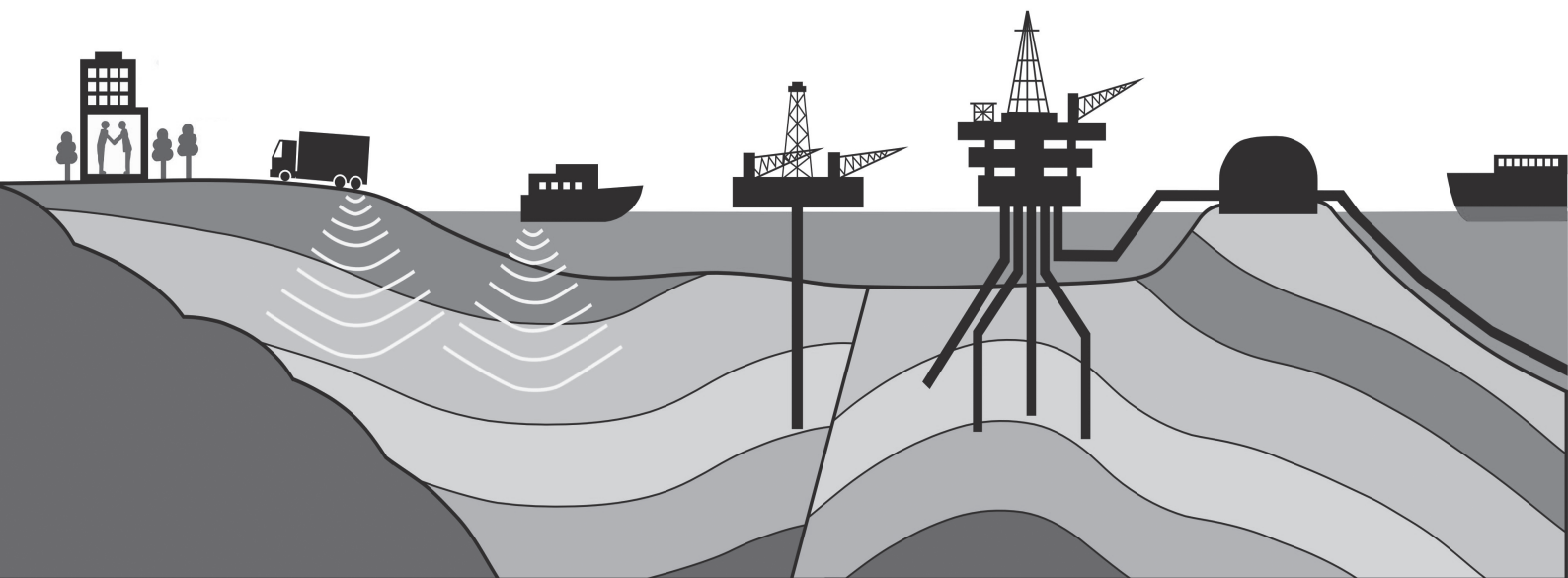


石油天然ガス資源をめぐる私たちの将来



私たちの暮らしに欠かすことのできない石油や天然ガスは、地質時代の生物遺骸が地下深部の地層中で姿を変えたものです。それが長い年月を経て地層中を少しずつ移動し、ある場所に集積すると、油田、ガス田が形成されます。人類はこの100年間、幾多の油田、ガス田を発見し、それらを開発する技術を蓄え、採取した石油天然ガス資源を駆使して高度な文明社会を築き支えてきました。しかし、近い将来、石油天然ガス資源は枯渇する運命にあります。また、枯渇するまで今のように使い続ければ地球環境に大きな変化をもたらすことは必定です。石油天然ガス資源の成立と利用の実態を概観し、今私たちのおかれている立場について科学的に考えて見ましょう。

日 時:5月10日(土) 午後2時30分～4時30分

講 師:荒戸 裕之 氏

(帝国石油(株)国内本部開発部部長, 石油地質学・シーケンス層序学)

会 場:大阪市立自然史博物館 講堂

申込み:不要 参加費:無料(ただし自然史博物館本館入館料が必要)

※講演の手話通訳を希望される方は、4月22日までに博物館までご連絡ください。

所 在 地:〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23(長居植物園内)

電話06-6697-6221 FAX06-6697-6225

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入 館 料:大人300円, 高大生200円, 中学生以下無料. 大阪市内在住の65歳以上の方や障害者手帳等をお持ちの方は, 証明書を提示されると無料になります.

交 通:地下鉄御堂筋線「長居」(3号出口)東へ800m, JR阪和線「長居」(東出口)東へ1000m,

ホームページ <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

主催:地学団体研究会大阪支部・大阪市立自然史博物館・日本地質学会近畿支部・
日本堆積学会 後援:石油技術協会